


デジタルメディアプレーヤー

使用上のご注意／主な仕様

NW-ZX500	ヘルプガイド	検索
----------	--------	----

インターネット上でヘルプガイド (Web取扱説明書) などのサポート情報が閲覧できます。閲覧は無料ですが通信料は通信契約に依存します。
<https://sony.jp/support/r/walkman/nwzx500/>



NW-ZX507

マニュアルについて

- 取扱説明書：ウォークマン®の基本操作について記載しています。
- 使用上のご注意／主な仕様 (本書)：ご使用前にお読みください。主な仕様やパソコンの動作環境、ご注意などを記載しています。
- ヘルプガイド (Web取扱説明書)：取扱説明書に記載されていない機能や、さらに詳しい操作説明を記載しています。パソコンやスマートフォン、ウォークマン (Wi-Fiネットワーク接続時) でご覧いただけます。
- 重要なお知らせ：商標や法規について記載しています。



(1)

©2019 Sony Corporation Printed in China

5-031-655-01(1)

警告 安全のために

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故の原因となります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。本書と「取扱説明書」、「ヘルプガイド」には、事故を防ぐための重要な注意事項と本製品の取り扱いかたを示しています。よくお読みのうえ、本製品を安全にご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全のための注意事項を守る

本書と「取扱説明書」、「ヘルプガイド」の注意事項をよくお読みください。

本書は、安全上の注意事項を記載しています。今回お買い上げの機器には当てはまらない内容も含まれています。

定期的な点検する

コネクタなどにほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、イヤークリップがヘッドホンにしっかり取り付けられているかなどを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、本製品が破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービスステーションに修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら



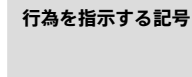
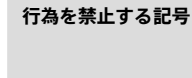
- パソコンと接続している場合は、USBケーブルまたはUSB端子を抜く。
- お買い上げ店またはソニーサービスステーションに修理を依頼する。

警告表示の意味

本書および本製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

- 危険** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。
- 警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。
- 注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



危険 下記の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



火の中に入れてはいけません。



温度が非常に高いところで充電したり、放置しない。

- 火のそば
- 暖房器具の近く
- 炎天下で窓を閉め切った自動車内(とくに夏季)など



本製品の各端子のそばにコイン、キー、ネックレスなどの金属類を置かない。

本製品の端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。



警告 下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故の原因となります。



火災 感電

充電式電池が液漏れしたときは

充電式電池の液が漏れたときは素手で液を触らない。

液が本製品内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

運転中では使用しない。

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。



周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない。

踏切りや駅のホーム、車の通る道、工事現場などでは、周囲の音が聞こえないと危険です。そのような場所では使用しないでください。事故やけがの原因となります。



内部に水や異物を入れない。

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、本製品に接続しているものをはずし、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。



雨、水がかかる場所、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では使用しない。

上記のような場所で使用すると、火災や感電の原因となります。



分解や改造をしない。

火災や感電、事故の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーサービスステーションにご依頼ください。



乳幼児の手の届かないところに置く。

イヤークリップなど小さな部品は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるため、ただちに医師にご相談ください。



本製品を布団などでおおった状態で使用しない。

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



雷が鳴り出したら、本体やUSBケーブルに触れない。

感電の原因となることがあります。



注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない。

耳を刺激するような大きな音で長時間続けて聞くと、聴力に影響を与えるおそれがあります。特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



はじめからボリュームを上げすぎない。

突然大きな音がでて、耳をいためることがあります。特にヘッドホンで聞くときにはご注意ください。ボリュームは徐々に上げましょう。



肌に合わないと感じたときは使用しない。

肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して、医師またはソニーの相談窓口、お買い上げ店にご相談ください。



使用中に気分が悪くなった場合は使用を中止する。

本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。



本製品を航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



本製品を医療機器の近くで使用しない。

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使用しないでください。



本製品を心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す。

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



本製品を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使用しない。

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



本製品に強い衝撃を与えない。

本製品には強い衝撃や過度の力を与えないでください。モデルによっては、画面表示部にガラス素材を採用しています。欠けや割れが発生するとけがの原因になります。その場合には直ちに使用を中止し、破損部には手を触れないようご注意ください。



不安定な場所に置かない。

ぐらついた台の上や傾いた場所などに置かないでください。落下してけがの原因となることがあります。



イヤークリップがはずれかけた状態で使用しない。

イヤークリップが確実に固定されていない場合、使用中にはずれて耳の中に残る場合があります。ご使用前にイヤークリップが確実に取り付けられていることを確認してください。



通電中の製品に長時間ふれない。

アプリ、データ通信、動画視聴など、長時間の使用や充電中は、製品の温度が高くなることがあります。温度の高い部分に長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。



本製品は、国内専用です。

海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。



使用上のご注意

無線LAN機能について

本製品内蔵の無線LAN機能はWFA (Wi-Fi Alliance) で規定された「Wi-Fi (ワイファイ)仕様」に適合していることが確認されています。

無線の周波数について

本製品が使用している周波数は、他の無線機器でも使用していることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

2.4 GHz機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または本製品の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
- 不明な点その他お困りのことが起きたときは、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

2.4 FH2/XX6

この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式とその他の変調方式を採用し、与干渉距離はそれぞれ、20 mと60 mです。

2.4DS/OF4

この無線製品は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

5 GHz機器使用上の注意事項

- 本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

ーW52 (5.2 GHz帯/36、40、44、48ch)

ーW53 (5.3 GHz帯/52、56、60、64ch)

ーW56 (5.6 GHz帯/100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n/ac

152 W52 W53 W56

- 電波法により、5 GHzワイヤレスLAN機器の一部許可された場合を除いて、屋外利用禁止です。

- 当該無線設備の送信は5.2 GHz帯高出力データ通信システムの基地局又は陸上移動中継局と通信する場合を除き、屋内においてのみ可能です。

BLUETOOTH®接続の使用上のご注意

- Bluetooth無線技術では約10 mまでの距離で接続できますが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- ウォークマンにはアンテナが搭載されています。アンテナ部分の方向を接続したBluetoothオーディオ機器に向けることで、Bluetooth接続の感度が良くなります。ウォークマンとBluetoothオーディオ機器の間に障害物などがあった場合、接続有効範囲は変わります。
- 以下の場合は、Bluetooth接続に障害を起こす場合があります。このような場合、音が途切れたり通信に失敗することがありますが故障ではありません。使用環境を変えてご使用ください。
 - 金属製のかばんの中で使う場合
 - リュックなど背中に背負うかばんや肩にかけるかばんに入れて使う場合
- 無線LANが構築されている場所、電子レンジ・携帯電話・通信機能のある携帯ゲーム機器などを使用中の周辺、またはその他電磁波が発生している場所など

- Bluetoothオーディオ機器と無線LAN (IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4 GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。
 - ウォークマンとBluetoothオーディオ機器を接続するときは、無線LANを搭載した機器から10 m以上離れたところで行う。
 - ウォークマンとBluetoothオーディオ機器をできるだけ近づける。
 - 無線LANを搭載した機器から10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

- Bluetooth無線技術の特性により、送信側での音声に比べて、受信側のBluetoothオーディオ機器での再生がわずかに遅れます。
- Bluetoothオーディオ機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではウォークマンおよびBluetoothオーディオ機器の電源を切ってください。
 - 病院内/電車内の優先席付近/航空機内/ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所や、自動ドアや火災報知機の近く

- ウォークマンは、Bluetooth技術を使用した接続時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth技術を使用した接続を行う際はご注意ください。

- Bluetooth技術を使用した接続時に情報の漏洩が発生しても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ウォークマンはすべてのBluetoothオーディオ機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
 - 接続するBluetoothオーディオ機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
 - 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

- 接続する機器によって、Bluetooth接続ができるようになるまで時間がかかることがあります。

ウォークマンの充電について

- 充電時間は電池の使用状態により異なります。
- 電源を接続していないノートパソコンとウォークマンを接続した場合、ノートパソコンのバッテリーが消耗します。ウォークマンを接続したまま長時間放置しないでください。

本製品の取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- 以下のような場所に置かないでください。
 - 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ
 - 変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。



ーダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内(とくに夏季)



ーホコリの多いところ

ーぐらついた台の上や傾いたところ

ー振動の多いところ

ー風呂場など、湿気の多いところ

ー磁石、スピーカーボックス、テレビなど、磁気を帯びたものの近く

- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、ウォークマンの電源を切って、ウォークマンをラジオやテレビから離してください。

- 本製品をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。

- ウォークマンをズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。



ーウォークマンにヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れて、外から大きな力を加えない。



- 水がかからないようご注意ください。本製品は防水仕様ではありません。特に以下の場合ご注意ください。
 - 洗面所などでポケットに入れての使用
 - 身体をかめたときなどに落として水濡れの原因となる場合があります。



ー雨や雪、湿度の多い場所での使用

ー汗をかく状況での使用
濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れると水濡れの原因となる場合があります。

- ヘッドホンをウォークマンから外すときは、ヘッドホンのプラグを持って外してください。ケーブルを持って引っ張ると断線の原因となる場合があります。

- ヘッドホンを付けたまま寝ないでください。寝ているあいだにヘッドホンのケーブルが首にからまり、窒息の原因となることがあります。

- 本製品をご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。

ご使用について

- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながら使用しないでください。運転中以外でも、踏切りや駅のホーム、車の通る道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使わないでください。

- ストラップ (別売) を付けてご使用する場合は、ストラップが引っかかる危険ですので、ご注意ください。また、振り回すと人にぶつかることもあり危険ですので、ご注意ください。

- 飛行機内で使用する際は、離着陸時など、機内のアナウンスに従ってご使用をお控えください。

- 周囲に配慮する必要があるような混雑した場所ではご使用をお控えください。

- 耳に差し込むタイプのヘッドホンは、イヤークリップ部分の密閉度が高いため、イヤークリップが耳に強く押しこまれたり、急に外れたりすると、鼓膜などを傷めるおそれがあります。使用後は、イヤークリップ部分を上下に動かして、ゆっくりに取り外してください。

・ウォークマンは充電中や使用中に内部の温度が上昇することがあります。気密性の高いかばんの中に入れた状態や、布などに包んだ状態が長時間のご使用はおやめください。内部に熱がこもり故障の原因になります。

●本製品を寒い場所から急に暖かいところに持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本製品の表面や内部に結露が生じることがあります。結露とは、空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。

結露が生じたときは、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。そのままご使用になると故障の原因になります。

●ウォークマンをUSB接続したまま、パソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。ウォークマンが正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンからウォークマンを取り外してから行ってください。

●Music Center for PCの使用(曲の取り込み中、本製品への転送処理中)にパソコンがスリープ/スタンバイ/休止状態へ移行すると、データが失われたり、Music Center for PCが正常に復帰しない場合がありますのでご注意ください。

静電気に関するご注意

空気が乾燥する時期に耳にピリピリと痛みを感じることがありますが、これはウォークマンの故障ではなく人体に蓄積される静電気によるものです。

静電気の発生しにくい天然素材の衣服を身に着けていただくことにより影響が軽減されます。

液晶画面について

●液晶画面は微細な画素の集合です。画面の一部に光る点、または光らない点(輝点や画素欠け)が存在する場合がありますが、故障ではありません。

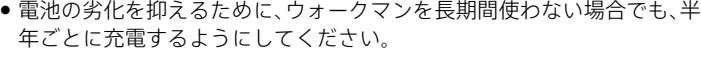
●液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。

●寒い場所でご使用になると、画像が尾を引いて見えることがあります。異常ではありません。

本製品の保管について

ウォークマンには、リチウムイオン充電電池が内蔵されています。長期間保管するときは、次の事項に注意してください。

- 充電電池の劣化は、満充電で保管すると激しくなり、保存温度が高いほど早く進みます。(たとえば、シガーソケットに接続したまま自動車内に放置するなど)できるだけ35℃以下のすずしい場所に保管してください。また、充電容量を50%前後にして保管することをおすすめします。
- 電池の劣化を抑えるために、ウォークマンを長期間使わない場合でも、半年ごとに充電するようにしてください。



ウォークマン表面の汚れは

- 柔らかい布(市販のめがね拭きなど)で拭いてください。

●汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。

●シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

- 内部に水が入らないようご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾拭きしてください。

microSDカードのご使用について

●初期化(フォーマット)は必ずウォークマンで行ってください。パソコンなどウォークマン以外の機器を用いて初期化したmicroSDカードは、ウォークマンでの動作を保証しません。

●すでにデータが書き込まれているmicroSDカードを初期化すると、そのデータが消去されてしまいます。誤って大切なデータを消去することがないよう、ご注意ください。

●microSDカードは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。

●転送／再生／初期化中は、microSDカードを抜き差ししないでください。故障の原因となります。

●対応仕様のmicroSDカードでも、すべてのmicroSDカードでの動作を保証するものではありません。

- 以下の場合、データが破壊されることがあります。

ー読み込み中、書き込み中にmicroSDカードを取り出したり、ウォークマンの電源を切った場合

ー静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

●お客様の記録したデータの破損(消滅)については、弊社は一切その責任を負いかねますのでご容赦ください。

●大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。

●端子部には手や金属などを触れないでください。

●強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。

●分解したり、改造したりしないでください。

●水にぬらさないでください。

●以下のような場所ではお使いにならないでください。

ー使用条件範囲以外の場所(炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど)

ー湿気の多い場所や腐食性のある場所

●お使いの際は正しい挿入方向をご確認ください。

●microSDカードの挿入口にはmicroSDカードトレイ以外のものは挿入しないでください。

●ラベルなどを貼らないでください。

microSDカードが取り出せなくなる可能性があります。

データについて

●本体を初期化(フォーマット)すると、本体の内部メモリー内に転送した音楽や写真、ダウンロードしたアプリケーションが消去されます。初期化(フォーマット)する前に、データをバックアップすることをおすすめします。

<div> <ul style="list-style-type: none">あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合、および音楽とそれに付随するデータが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。 </div>
--

本製品を初期化(フォーマット)すると、本体の内部メモリー内に転送した音楽や写真、ダウンロードしたアプリケーションが消去されます。

本製品は、法令または規制に基づく認証情報を画面に電子的に表示していません。これらの認証情報は、下記の手順で表示して下さい。ホーム画面を上へスワイプして、[設定] — [システム] — [認証]をタップしてください。

本製品を初期化(フォーマット)すると、本体の内部メモリー内に転送した音楽や写真、ダウンロードしたアプリケーションが消去されます。

本製品を廃棄するときのご注意

本製品に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取りはずしはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。
(「ソニーの相談窓口」の連絡先は「お問い合わせ窓口のご案内」に記載されています。)

本製品を初期化(フォーマット)すると、本体の内部メモリー内に転送した音楽や写真、ダウンロードしたアプリケーションが消去されます。

インターネット上の有害情報へのアクセス制限機能について

本製品には、お子様などに見せたくないホームページやブログ、ソーシャル・ネットワーク・サービス(SNS)などの利用を制限するための「フィルタリング」機能を持つソフトウェアとして、「i-フィルター」*をご案内しています。

「ネット上のいじめ」等のトラブルを未然に防ぐため、お子様などが本製品を使ってインターネットをご使用の際は、このソフトウェアの利用をお勧めします。

「i-フィルター」の詳細については、デジタルアーツ株式会社のホームページをご覧ください。

* 「i-フィルター」をご利用される場合は、別途お申し込みが必要です。

主な仕様

ディスプレイ
サイズ：3.6型(9.1cm)
解像度：HD (1280×720ドット)
パネル種類：TFTカラー液晶
タッチパネル：対応

インターフェース
USB：Type-C (USB 2.0準拠)
ヘッドホン：ステレオミニ、バランス標準
外部メモリー：microSD、microSDHC、microSDXC

- 最新の動作確認済microSDカードについては、サポートページでご確認ください。

ワイヤレスLAN
規格：IEEE 802.11 a/b/g/n/ac
使用周波数帯域：2.4/5 GHz帯
暗号化：WEP/WPA/WPA2

Bluetooth
バージョン：Ver. 5.0
使用周波数帯域：2.4 GHz帯(2.4000 GHz～2.4835 GHz)
変調方式：FHSS
対応Bluetoothプロファイル：A2DP、AVRCP、SPP、OPP、DID
対応コーデック(送信)：SBC、LDAC、aptX、aptX HD、AAC

内蔵センサー
加速度センサー

本体マイク
内蔵モノラル

ヘッドホン出力(ステレオミニ端子)
周波数特性：20 Hz～40,000 Hz

ヘッドホン出力(バランス標準端子)
周波数特性：20 Hz～40,000 Hz

電源
内蔵リチウムイオン充電式電池
USB電源(同梱のUSBケーブルを接続して、パソコンから供給)

充電時間
USB充電：約6.5時間(満充電)、約5時間(約80%まで充電)

動作温度
5℃～35℃

外形寸法
最大突起部含まない寸法(幅／高さ／奥行き)：約57.3 mm × 121.8 mm × 14.8 mm

最大外形寸法(幅／高さ／奥行き)：約57.9 mm × 122.6 mm × 14.8 mm

質量
約164 g
容量
64 GB
ユーザー使用可能領域：約48.64 GB

- メモリー容量の一部はデータ管理に使用されるため、実際に使用できる容量はこれより少なくなります。

本製品の動作環境
本製品の一部の機能を使うには、Wi-Fi環境が必要です。

対応アプリケーションソフトウェア

- Music Center for PC
対応OSはサポートページ(https://www.sony.jp/support/walkman/)からご確認ください。
- Macで操作するには、別途ソフトウェアが必要です。

ミュージック	
MP3 (.mp3)	32 kbps～320 kbps (VBR対応) / 32 kHz、44.1 kHz
WMA (.wma)	32 kbps～192 kbps (VBR対応) / 44.1 kHz
FLAC (.flac)	16 bit、24 bit / 8 kHz～384 kHz
WAV (.wav)	16 bit、24 bit、32 bit (Float/Integer) / 8 kHz～384 kHz
AAC (.mp4、.m4a、.3gp)	16 kbps～320 kbps / 8 kHz～48 kHz
HE-AAC (.mp4、.m4a、.3gp)	32 kbps～144 kbps / 8 kHz～48 kHz
Apple Lossless (.mp4、.m4a)	16 bit、24 bit / 8 kHz～384 kHz
AIFF (.aif、.aiff、.afc、.aifc)	16 bit、24 bit、32 bit / 8 kHz～384 kHz
DSD (.dsf、.dff)	1 bit / 2.8224 MHz、5.6448 MHz、11.2896 MHz
APE (.ape)	8 bit、16 bit、24 bit / 8 kHz～192 kHz (Fast, Normal, High)
MQA (.mqa.flac)	対応

- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- 全てのエンコーダーに対応しているわけではありません。
- サンプリング周波数によっては規格外および保証外の数値も含まます。
- 4 GB (APEのみ2 GB)以上のファイルは再生することができません。
- 本製品では、CD (44.1 kHzサンプリング、16 bit量子化)およびDATスベック(48 kHzサンプリング、16 bit量子化)を超えた音源を高情報量な音源としています。高情報量な音源には「HR」マークを表示しています。
- W.ミュージックアプリ以外をお使いの場合には、ハイレゾ音源は48 kHz / 16 bitのダウンコンバート再生になります。

最大記録曲数

MP3 (128 kbps)：約13,000曲
AAC (256 kbps)：約6,600曲
FLAC (192 kHz / 24 bit)：約180曲
DSD (2.8224 MHz / 1 bit)：約300曲

- 1曲4分の場合の目安です。
- 本製品では、本体メモリーとmicroSDカードに合計20,000曲を転送し、正常に動作することを確認しています。

	ステレオミニ端子	バランス標準端子
MP3 (128 kbps)	約20時間	約19時間
AAC (256 kbps)	約20時間	約19時間
FLAC (192 kHz / 24 bit)	約16時間	約15時間
DSD (2.8224 MHz / 1 bit)	約10時間	約9時間

- W.ミュージック使用時
- 持続時間は初期設定状態で連続再生をしたときの目安です。
- 再生待機状態でもわずかながら電池を消耗しているため、再生待機状態が長時間あった場合には持続時間は短くなります。
- 音量や使用状況、周囲の温度によっても持続時間は異なります。
- 以下の場合は、持続時間が大幅に短くなります。
 - 各種音質設定を有効にしている場合
 - 画面表示させている場合
 - Bluetooth機能を有効にしている場合
 - Wi-Fi機能を有効にしている場合

本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- 商標権の帰属、法規などに関する情報「重要なお知らせ」は、本体メモリー内の[Important Information]ファイルパソコンにコピーして開き、[日本語]を選択することで確認できます。
- N-Markは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。

N

- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- 本製品はFraunhofer IISおよびThomsonのMPEG Layer-3オーディオコーディング技術と特許に基づく許諾製品です。
- 本製品の一部にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft Corporation. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft or an authorized Microsoft subsidiary.

保証書とアフターサービス

保証書
<ul style="list-style-type: none">この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
アフターサービス
<p>調子が悪いときはまずチェックを</p> 「取扱説明書」の「困ったときは」をもう一度ご覧になってお調べください。
<p>それでも具合が悪いときはサービスへ</p> ソニーの相談窓口またはお買い上げ店、お近くのソニーサービスステーションにご相談ください。
<p>保証期間中の修理は</p> 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
<p>保証期間経過後の修理は</p> 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
<p>部品の保有期間について</p> 当社では、デジタルメディアプレーヤーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

お問い合わせ窓口のご案内

お問い合わせの前に
以下の方法で症状が解決されることがありますのでお試しください。

ウォークマンを強制再起動する。

ウォークマンを充電する。

インターネットをお使いのお客様は、ウォークマンのサポートページをご覧ください。

メールでのお問い合わせも、ウォークマンのサポートページへ(https://www.sony.jp/support/walkman/)お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

- 型名：英数字(ウォークマン本体に記載)**

NW-

 - 製造(シリアル)番号：7桁の数字(ウォークマン本体に記載)
 - ご相談内容：できるだけ詳しく
 - 購入年月日
 - お使いのパソコンの情報(パソコンメーカー名、パソコン型名、OSバージョン)
 - その他接続にお使いの機器の情報(機器メーカー名、型名)

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。
https://www.sony.jp/support/

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル <p>…………… 0120-333-020</p> 携帯電話・PHSの一部のIP電話 <p>…………… 050-3754-9577</p>	フリーダイヤル <p>…………… 0120-222-330</p> 携帯電話・PHSの一部のIP電話 <p>…………… 050-3754-9599</p> ※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX(共通) 0120-333-389
↓
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「 301 」+「 # 」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1